

日商簿記2級（平成29年6月 新論点講座）

圧縮記帳

収録日：平成29年4月1日

圧縮記帳とは？

①期首にIT補助金300,000円を受け取り普通預金とした
普通預金300,000／国庫補助金受贈益300,000

500,000

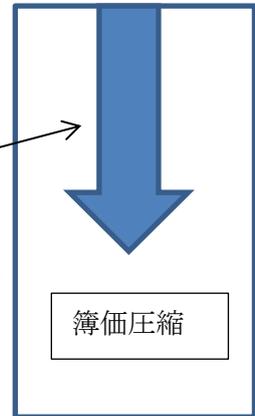
②補助金で500,000円の会計専用機を購入した
備品500,000／普通預金500,000

③圧縮記帳を実施した
備品圧縮損300,000／備品300,000

200,000

④減価償却を実施した（定額法、耐用年数5年）
減価償却費40,000／減価償却累計額40,000

⑤他の収益は200,000円であった。利益の40%の法人税等を計上した
法人税等64,000／未払法人税等64,000



<圧縮記帳がなければどうなる？>

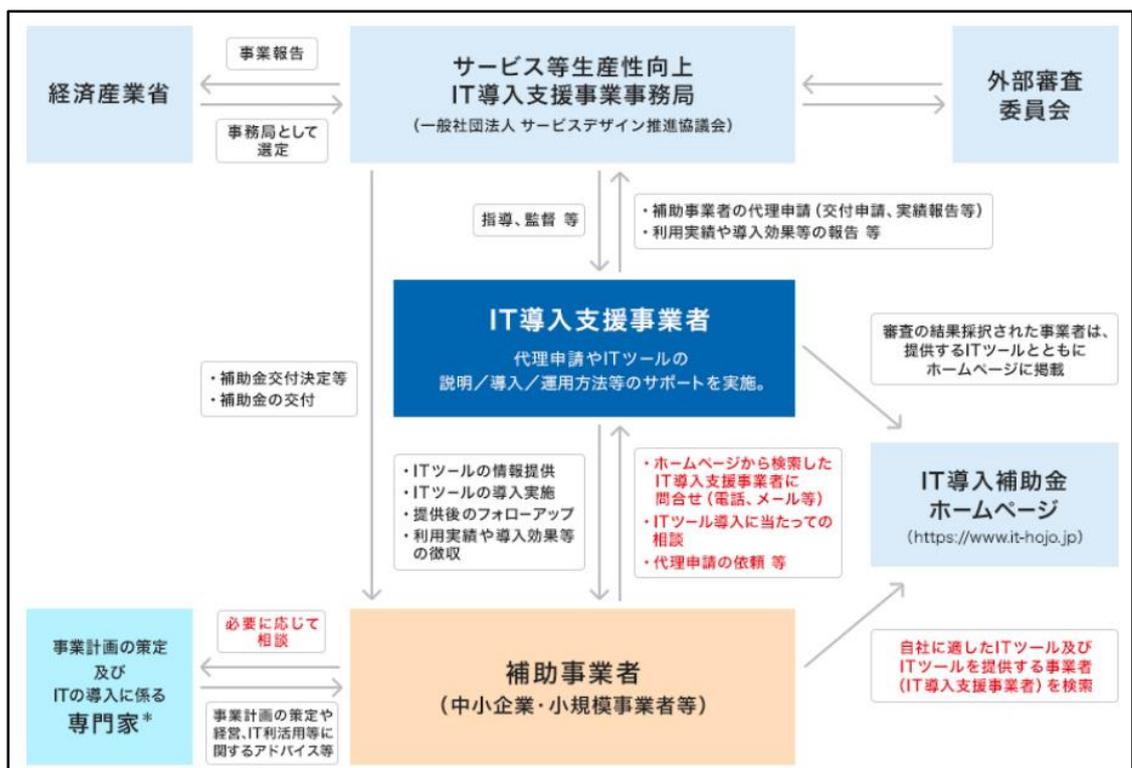
収益500,000

減価償却100,000

法人税160,000

96,000円の節税成功？
本当

せっかく経済産業省が景気対策で300,000円補助したのに、財務省が120,000円とっていくイメージ。補助金の効果を一気に失わないために圧縮記帳という制度がある。



課税の繰り延べとは？

税金を後払いにする考え方です（経営者は税金は後払いにしたい）

<圧縮あり>

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
収益	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
受贈益	300,000				
圧縮損	300,000				
減価償却	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
税引前利益	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000
法人税	64,000	64,000	64,000	64,000	64,000
当期純利益	96,000	96,000	96,000	96,000	96,000

合計法人税 320,000、合計利益 480,000

<圧縮なし>

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
収益	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
受贈益	300,000				
圧縮損					
減価償却	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
税引前利益	400,000	100,000	100,000	100,000	100,000
法人税	160,000	40,000	40,000	40,000	40,000
当期純利益	240,000	60,000	60,000	60,000	60,000

合計法人税 320,000、合計利益 480,000

中小企業診断士でサポート実績豊富な担当が無料で導入相談に伺います

財務 税務 弥生 そして IT に強い!

中小企業診断士・ITコーディネーターの

弥生導入**無料**相談

IT導入
補助金
スタート
▶▶詳しくはこちら

弥生会計・弥生販売・弥生給与の
システム導入の相談はお任せ!

財務・税務に強い
中小企業診断士
☎日商簿記1級・税法1級

私が無料で導入
相談に応じます!

有限会社ケースメソッド
代表：横山 隆志

皆さん、サンプル問
題3の(4)を確認し
てみましょう

弥生会計導入実績2,000社以上
弥生給与導入実績500社以上
弥生販売導入実績500社以上
☎弥生マスタインストラクタ

WindowsServerネットワーク
構築100社以上
☎MicrosoftMCP(WindowsServer)